


認知症の本人・家族と地域との共生 に向けて ～ICT利用の可能性～

厚生労働省「平成28年度：介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業」採択
経済産業省「令和2年度・3年度：認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業」採択
認知症の方にもやさしい「 地域共生支援アプリ」のご紹介



「互助」をICTがサポートする発想で生まれた、見守り合える「地域」を育てていく「地域共生支援アプリ」をご紹介します。コロナ禍においても認知症のご本人・ご家族と「地域」との繋がりをサポートします。当日はアプリを体験頂き、ぜひこのプロジェクトにご参画ください。

◆2021年5月13日(木) 13:30～16:00

会場：京都信用金庫QUESTION 7F クリエイティブコモンズ
(京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町390-2)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、オンラインでの開催に変更することもあります。

対象：企業、認知症当事者、医療・福祉・介護関係者、行政、一般
参加費：無料 定員：65名

プログラム

◆イントロダクション

「認知症の本人・家族が求める支援について」

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学
教授 成本 迅氏
(認知症にやさしい異業種連携協議会 座長)



◆講演

「互助」をICTがサポートする発想で生まれた 「産学官連携×地域共生支援アプリ」が生み出すDX (令和3年度経済産業省採択による開発内容含む)

社団法人セーフティネットリンケージ
代表理事 高原 達也氏



◆「地域共生支援アプリ」体験

閉会后、より詳しくプロジェクトについてお聞きになりたい方向けに意見交換会を行います！

京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学教授 成本 迅氏

平成7年 京都府立医科大学卒業。平成13年 京都府立医科大学大学院修了。

日本精神神経学会・日本老年精神医学会 専門医・指導医。日本生物学的精神医学会、日本神経精神医学会、日本老年精神医学会 各評議員。日本老年行動科学会 理事。一般社団法人日本意思決定支援推進機構 代表理事。認知症にやさしい異業種連携協議会 座長
認知症専門医の立場から、さまざまな企業と医療・介護・福祉とのこれまでにない連携が進むことを願っています。

「地域共生支援アプリ」












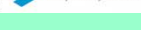
- ①地域が持つ「互助」を「ICT」がサポートする発想から生まれた「みまもりあいアプリ」を開発し、多世代で見守り合える街を育てる「みまもりあいプロジェクト」を2017年4月から開始。最大の特徴は、個人情報 を保護した状態で家族が近隣の協力者の互助を頼って直接探索依頼ができる仕組みにあります。
- ②2021年4月、認知症当事者の目線・ご家族の目線、支援団体の目線、それを見守る地域の目線に立った「地域共生支援アプリ」に改修し、「新しい活躍の場を用意し、必要とする情報・人を集い、喪失過程に寄り添いつつ孤立化を防止」、「社会とのつながりの回復（リアルな場・役割・やりたいこと等）」を支援していきます。（現在約100万DL）

社団法人セーフティネットリンケージ 代表理事 高原 達也氏（前職：ベネッセコーポレーションにて主に新規事業開発に携わる）

* 公設民営保育園・たまごクラブひよこクラブ・いぬのきもち・女性限定会員サイト「ウイメンズパーク」等



【受賞・実績履歴】

- ①2017年4月、互助をICTがサポートする発想で生まれた「みまもりあいプロジェクト」事業開始
 - ・ICTに関する特許技術を活用（通話時に互いの個人情報を保護を実現）
 - ・平成28年度：厚生労働省介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業受託 
- ②2018年2月、東京大学「空間情報科学センター」×AIGID=アーバンデータチャレンジ【アプリ部門金賞受賞】 
- ③2018年2月、12自治体参画オープンガバメント推進協議会【銅賞受賞】
- ④2018年度、東京都労働局商店会クラブ【優秀賞受賞】 
- ⑤2018年度、【グッドデザイン賞受賞】 
- ⑥2018年度、東京海上日動「認知症保険共同開発」 
- ⑦2019年度、一般社団法人日本認知症ケア学会 石崎賞受賞 
- ⑧2019年度、大阪大学Innovation Bridge Grant【大型産学共創コンソーシアム組成支援プログラム事業】採択 
- ⑨2020年度、京都大学「地域医療BCPモデル開発」（京都大学医学部附属病院システム導入） 
- ⑩2020年度、令和2年度：経済産業省「認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業」採択 
- ⑪2021年度、令和3年度：経済産業省「認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業」採択 

認知症にやさしい異業種連携協議会とは・・・

異業種連携により認知症にやさしいサービスを検討し、実践することを目的として、令和元年6月に設立。

今年9月には認知症になっても個人の意思が尊重され、安心して暮らし続けられる社会を実現するため、企業として取り組むべき行動についてまとめた「認知症にやさしい異業種連携共同宣言」を発表。

京都から認知症にやさしいモノやサービスの創出をめざしています。

協議会HP <http://www.pref.kyoto.jp/kourei-engou/181210.html>



認知症に
やさしい
異業種連携
共同宣言

セミナー申し込み方法

右記のQRコードより専用フォームによりお申し込みください。

下記の参加申込書により、ファックスまたはメールでもお申し込みいただけます。

◆参加申し込み・問い合わせ先:

認知症にやさしい異業種連携協議会事務局（京都府健康福祉部高齢者支援課）

TEL 075-822-3562 / FAX 075-822-3574 houkatu5@pref.kyoto.lg.jp



参加申込書 ※申込みは、下記の申込書(内容)をお送りください。

団体名		所属	
所在地			
電話番号			
参加者氏名	フリガナ		
メールアドレス			